

認定こども園が開所式



地域の子育て支援拠点に

4月5日、市立にこにこ保育園が幼保連携型の認定こども園「にこにここども園」に、6日には、ひのきない保育園が「ひのきないこども園」となり、開所式と入園式が行われました。市内では「だしのこ園」「神代こども園」に次ぐこども園の誕生となります。今後は、幼稚園と保育園の機能と特長を合わせ持ち、積極的に地域の子育て支援を行う拠点となります。



お祝い品と帽子を贈られた入園児たち。(にこにここども園)



「にこにここども園」(上)と「ひのきないこども園」(下)で開所式をお祝いしテープカット。

春の大型観光キャンペーン



交流人口の増加に期待

4月1日、JR東日本グループと秋田県等による「秋田県春の大型観光キャンペーン」が初日を迎え、JR田沢湖駅とJR角館駅で歓迎イベントがそれぞれ行われました。JR田沢湖駅では生保内節の民謡演奏や手踊り、JR角館駅では角館高校飾山囃子部による手踊り等が賑やかに披露されました。このキャンペーンは6月まで開催されます。



JR田沢湖駅では、新幹線の発着に合わせ、生保内節の手踊りなどで乗降客をお出迎えしました。

市民の健康維持・増進の場に活用 クリオン温泉プールがリニューアル

4月1日、西木温泉ふれあいプーラザクリオンの温泉プールがリニューアルオープンしました。14年ぶりに通年営業が可能となり、5月からは市民の健康維持のための水中運動教室も開催されます。プールはクリオン3階にあり、25歳が5コース、水深は1〜1.1メートルとなっています。

1日にプールサイドで行われたプール開きには、市民など約100人が出席。神事が行われた後、市水泳協会の会員が日本泳法水府流太田派の泳ぎを披露し、市内2つのスポーツクラブの子どもたちが泳ぎ初めを行いました。門脇市長は「待望の通年利用が可能となり、子どもから高齢者まで、たくさんの人に利用してもらいたい」と話しました。



改修を終えたプール。水中運動を通じて市民のヘルスケアにも役立てられそうです。



プール開きで楽しそうに泳ぎ初めをするスポーツクラブの子もたち。

西明寺小で春の防犯活動



地域の安全を守る

4月10日、仙北市防犯協会西明寺支部(伊藤邦彦支部長)による春の防犯活動が西明寺小学校で行われました。

当日は、伊藤支部長を含む9人の会員が、登校する児童たちに対し、防犯啓発用のティッシュを配りながら、防犯意識の向上に努めました。会員たちは、一人ひとりに丁寧に声かけ運動を実施し、不審者に対する注意を呼びかけていました。



仙北市防犯協会西明寺支部の会員たちは、登校する児童たちに声をかけ、防犯に対する意識を促しました。

本番さながら駆け付け訓練



火災の発生に気をつけて

4月2日から8日まで「春の火災予防運動」が実施されました。初日には、市内3か所での火災の発生を想定した駆け付け訓練を実施。参加した団員たちは、きびきびとした動きで本番さながらの素早い動きを披露しました。これから気温が高くなる時期は、空気の乾燥により火災が発生しやすくなります。安全第一を心がけ火気の取り扱いには、十分に注意しましょう。



市内3か所で行われた駆け付け訓練。写真は西木町の桧木内川河川公園で行われた訓練。

仙北市の魅力为全国へ発信 オリジナルフレーム切手を寄贈



仙北市の美しい花々や武家屋敷の風景などが収められた2種類のフレーム切手。

秋田県東部地区連絡会および角館郵便局が、4月14日、オリジナルフレーム切手を仙北市に寄贈しました。寄贈いただいたのは、刺巻のミズバショウ、西木町のかたくりを題材とした『せんぼく花紀行』と武家屋敷を題材とした『みちのくの小京都「角館」』の四〇(1シート 82円切手×10枚 1300円)の2種類。どちらも仙北市の魅力満載のフレーム切手で、仙北市はもとより、大仙市、横手市、美郷町の全郵便局71局のほか、各花まつり会場でも臨時販売しています。オリジナルフレーム切手は、それぞれ趣があり、眺めているだけでも楽しめそうです。

国内最大級の規模誇る かたくり群生の郷

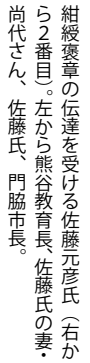
4月15日、西木町の八津・鎌足のかたくり群生の郷が開園しました。西木町の特産品「西明寺栗」の栗園に、薄紫色のかたくりの花が一面に広がり、連日観光客を楽しませています。開園は5月3日まで。ぜひ、この機会にご来園ください。



色鮮やかなかたくりの花を撮影する多くの人々の姿が見られました(右)。角館の桜、刺巻のミズバショウと合わせ、仙北市の花めぐりはシーズン真っ盛り。

町屋ホテル角館がオープン

関係者によるテープカットでオープンをお祝いしました。



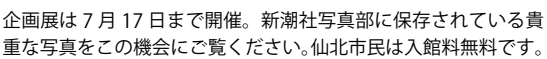
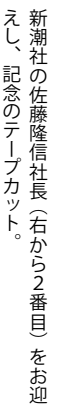
日本画家 佐藤元彦氏 に紺綬褒章

平成 27 年 10 月に「佐藤元彦日本画展一歩んだ故郷での個展一」と題した初の個展を角館町平福記念美術館で開催。佐藤氏は「自宅やアトリエで保管している作品を今後は仙北市の公的施設で活用してもらいたい」と展示作品 50 点の中から 29 点を市に寄付しました。これを受けて、市では県を通じ国に紺綬褒章を推薦し、今回の受章に至りました。佐藤氏は「故郷にはたくさんの思い出が詰まっている。今後も仙北市とのつながりを大切にしていきたい」と話しました。

新潮社写真部のネガ庫から展

企画展では、同社が昨年東京本社で展示した写真パネルに加え、その著作と一緒に展示しています。

佐藤社長は「仙北市と企画展をできてうれしく思う。実際の記事や書籍では、作家の日常の表情を写したものは使われない。普段なかなか目にすることのない、家族との団らんや入浴シーンといった貴重な写真を、ぜひ見てもらいた



『北限の雪つばき』

椿山ですが、辰子生誕の地から林道に入り、しばらく車を走らせて橋を渡るＴ字路を右折です。ここが椿台林道の始点で、その後も林道を進みます。途中に石置場沢の標識があります。春先の林道は各箇所に洗掘や倒木などがあるので、十分な注意が必要です。終点には営林局に建てていただいた立派な雪つばき看板があつて、その看板の脇から木道が整備されていきます。

保全活動を行いながら、市の花紀行の新たなポイントにできないものか、いつもこの季節に考えています。

昔の椿台を知る方は、「若い頃、山が全部つばきに覆われている光景を目にしたことがあります。見渡す限り赤い花でした。本当に綺麗でした。数年前にまた見ましたが、何だか群生が小さくなったように感じました」と、話しています。

春になると赤い花を咲かせる雪つばき
(平成27年春撮影)

【問合せ】社会福祉課（西木庁舎） ☎（43）2288

なお、各種申請窓口は引き続き仙北市福祉事務所社会福祉課および地域センター・出張所となります。

- 連絡先／社会福祉法人秋田ふくしハートネット
指定相談支援事業所「愛仙」
西木町小淵野字中関7
- 担当／佐藤・仙葉・飯塚

● 電話番号／（47）2102

【問合せ】農山村活性化課（西木庁舎） ☎（43）2206

▼平成29年4月1日から平成30年2月末日までに技能認定証を取得する方

▼コプターの導入が見込まれる方
仙北市に住所を有し、現に住んで

